

結の心を大切に、誰もがきらきらと輝き共に助け合い、支えあう福祉のまちづくりを目指して



No. 40

2022年(令和4年8月)

たけとみちょう

社協だより



編集・発行 / 社会福祉法人 竹富町社会福祉協議会 /

TAKETOMI TOWN SOCIAL WELFARE CONFERENCE

難島等相当通所介護事業所
訪問介護ステーション

さみん

〒907-0012

事務局：石垣市美崎町11番地1（竹富町役場2階）

Phone (0980)84-3302 (直)・(0980)82-3002 (Fax 兼用)

E-mail: takeshakyou@blue.ocn.ne.jp



もくじ

報告	令和3年度 事業報告 令和3年度 財産目録・資金収支計算書	2~3
報告	令和4年度 事業計画	4
報告	令和3年度 竹富町社会福祉協議会会費報告	5
報告	令和4年度 赤い羽根共同募金事業報告	6
紹介	社協からのお知らせ	7
募集	助成団体募集のお知らせ	8

令和4年6月14日、21日に黒島で慰霊の日交流会が行われました。

今回交流したのは、黒島で居場所作りのために活動しているボランティア団体「黒島笑いティーサロン」の皆様と、黒島小中学校の児童生徒たち。おばあ達の臨場感のある戦争体験のお話に、子ども達はじっくりと耳を傾けました。

令和3年度 事業報告

1. 老人福祉事業【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

●記念品交付

各地区で開催される敬老会において記念品を配付し、地域住民と共に長寿をお祝いしながら地域ふれあい交流の推進を図った。

対象者：80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上

令和3年度実績：92名

2. 児童福祉事業【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

●絵本を通して豊かな未来を

絵本を通して利用者との関係性が深まり、普段の生活により居心地がある居場所づくりとなるようお年寄りとちょっと素敵な時間を過ごせるヒントや笑顔が見られることを目的とした絵本の読み聞かせを学んだ。

実施日：令和3年12月15日(水)

実施場所：上原小学校 体育館

参加者：23名

●新入学児童用品交付

竹富町の次世代を担う子ども達の健やかな成長を地域で支え、児童福祉の向上を図りながら新入生のお祝いをした。

実施場所：竹富町立小中学校

実施日：令和3年4月

対象者：竹富町内各小中学校の新入児童生徒 103名

●ボランティア推進指定校

ボランティア活動や福祉教室等を通して、「住んでいる地域で自分にできること」へ“気づき”を促し、安心して豊かに暮らせる地域づくり推進に児童生徒が積極的に携わっていただけるよう支援した。

実施校：黒島小中学校、鳩間小中学校

●ボランティア活動校

活動助成金を交付し、学校単位で様々なボランティア活動を計画し、実践した。

参加校：9/13校

3. 視覚障がい者福祉事業【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

障がいの有無に関わらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができるようにする。体験をとおして楽しく学び、視覚障がいへの理解へつなげた。

実施場所：鳩間小中学校全児童生徒、黒島小中学校小学4,5年生、白浜小学校小学3,4年生

参加者：(3日間累計)30名

4. 結のまちづくり活動助成事業【財源：赤い羽根共同募金】

共同募金の一部を財源として「住み慣れた島で安心して暮らせるまちづくり」の推進に取り組む団体・グループ等に対し公募によって申請を受け付け、助成した。

実施団体：12団体

事業総額：686,286円

5. 福祉育成援助活動事業【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄付・会費等】

●ボランティア育成推進

町内ボランティアの人材育成、資質向上を行い、地域ネットワークの推進、地域福祉力の向上を図った。

内容：●ボランティア登録推進

●ボランティア保険受付

●地域リーダー、ボランティアの育成

●県社協、石垣市で開催される研修会等への派遣

①ボランティア登録推進【社協保険】延べ累計13団体130名

【福祉サービス総合】延べ1団体16名

【活動保険】延べ8団体計141名

【行事用保険】延べ1団体20名 波照間塾20名

②福祉教室の開催

独居世帯や気になる家庭等を対象に子ども達が登下校中にためらうことなく積極的に「声かけ」が出来ることを目標に、その第一歩となるようフィールドワークを行った。

実施場所：西表東部地区(大原小学校)6回目 大原小学校4年生教室

実施日時：令和3年3月7日 10:25～12:10

参加人数：4年生、あしながおばさんの会 ボランティア3人

③ボランティア情報交換会

地域リーダーやボランティアの資質向上を行い、地域ネットワークの推進、地域福祉力の向上を図ることを目的に年3回開催した。

日時：令和3年10月8日(金)、12月21日(火)、3月4日(金)

実施日時：石垣市離島ターミナル 会議室1及び2(10月、3月)、竹富公民館(12月)

参加者：(3日間累計)62名

●結のまちづくり推進

地域内で発生している福祉課題を地域住民全体の問題としてとらえ、住民全体の問題としてとらえ、住民相互の助け合い・ふれあい活動を基本に解決できるよう、地域支え合い体制の基盤づくりを推進した。

実施場所：竹富島・小浜島・西表島・鳩間島 結のまちづくり助成金交付地区 他

実施日：令和3年4月～令和4年3月

事業実績：コロナ禍での交付式・事業説明会・座談会が中止。

実施団体及び、次年度申請団体へは電話、窓口相談等での予約受付対応

実施団体：16団体

6. 共同募金運動の推進【財源：県協募事務費(共募会計)・歳末助け合い募金】

竹富町共同募金運営委員会で決まった事業計画に沿って、住民参加のもと募金運動に取り組んだ。

実施場所：竹富町全域・石垣市他

実施日時：令和3年10月1日～12月31日

●沖縄県共同募金委員会受賞報告及び、伝達式

●共同募金出発式及びボランティア推進校交付式

●募金箱設置【令和3年度76ヶ所設置】

●街頭募金活動【小浜島ふあま会・五感を育む会、黒島小中学校、大原中学校】

●共同募金運営委員会の開催(年2回)

●共同募金審査委員会の開催(年2回)

●啓発活動【事業実施等に合わせて、事業についての周知活動】

●募金贈呈式の開催(全9回)

●たけとみちよう社協だよりの発行(年3回)

●歳末たすけあい便りの発行(年1回)

●募金額(赤い羽根共同募金：3,144,353円、歳末助け合い運動1,769,868円)

7. 歳末たすけあい配分事業【財源：歳末助け合い運動募金】

●義援金配分

新年を迎える時期に、生活困窮世帯(非課税世帯)で支援を必要とする人たちが地域で安心して正月を迎えられるように、歳末助け合い募金の一部を配分した。

実施場所：竹富町全地区

実施日時：令和3年12月下旬

歳末義援金一人当たり10,000円 計47名

●ふれあいイベント助成

竹富町の高齢者、障がい者、子どもなど、誰もが地域社会の一員として安心して新年を迎えることができるよう、住民の主体的な参加により地域で実施される福祉活動を支援・推進することを目的とした。

実施団体：19団体

助成総額：528,448円

8. 生活困窮者等への支援【財源：会費、寄付金、歳末たすけあい】

①法外援護事業

②フードバンクの設置

生活保護法、その他社会福祉関係法による適用の対象とならない一般生活困窮者に対し、予算の範囲内で金品等の支給措置を講じ、緊急かつ一時的に支援を行った。

事業実績：令和3年度 2件(延べ現金1,290円、食料3日分)

9. 生活福祉資金貸付事業【財源：県社協受託金】

町内低所得者の自立更生を図った。

実施場所：竹富町全域

実施日時：令和3年4月～令和4年3月

対象者：生活福祉資金長期滞納者、町内生活困窮者 他

事業実績：○一般貸付

償還指導5名(延べ7件)、

貸付相談(延べ6件)

○特例貸付 ※令和4年3月25日付

緊急小口資金(特例貸付) 121件 23,850,000円

総合支援資金(特例貸付) 95件 47,540,000円

総合支援資金延長(特例貸付) 50件 25,050,000円

総合支援資金再貸付(特例貸付) 62件 31,650,000円

10. 戸別総合相談事業【財源：会費、寄付金、町補助金】

制度の狭間にある方の日常生活におけるさまざまな心配ごとや、困りごとの相談に応じ、助言や諸制度の紹介、又関係機関等へつなぐ調整を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

実施場所：竹富町全域

実施日時：令和3年4月～令和4年3月

訪問相談(延べ2件)、電話相談(延べ29件)、来所相談(延べ2件)

11. 日常生活自立支援事業の推進【財源：県社協受託金・寄附金・会費等】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が地域において安心して自立した生活が送れるように、本人との「契約」に基づき支援した。

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

相談件数：22回

関係機関連絡会議・研修会等への参加 14回(竹富町・石垣市)

12. 生活支援体制整備事業の推進【財源：竹富町受託事業】

高齢者をはじめとした住民が地域社会に関わることで住民同士のつながりが深まり(社会参加)、それが心や身体の健康維持(介護予防)、そして支え合い(生活支援)につながっていくことを推進する。高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「地域づくり」を目指した。

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

13. 社協会員募集推進【財源：寄付金・会費等】

町内地域福祉の積極的な推進における財源確保のため、社協の活動と趣旨を住民に啓発し、会員募集推進を図った。

実施場所：竹富町全域

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日(強化月間 4月～7月)

14. ふれあいサロン事業【財源：竹富町受託事業】

住み慣れた地域で、いつまでもいきいきと住み続けられること。地域でたのしみ生きがい、社会参加を促し「引きこもり・閉じこもり」等、孤立しがちな人たちが気軽に集まれるサロン活動を支援し、楽しく明るい地域づくりに寄与することを目的とした。

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

支援サロン：11団体

延べ実施回数：155回

延べ実施人数：950回

15. 車椅子貸出事業【財源：寄贈・赤い羽根共同募金】

一時的に車椅子を必要とする人に対し、車椅子を貸出することにより日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資した。

事業実績：竹富町社会福祉協議会事務所内車椅子使用車数：6名

車椅子保有台数：16台（竹富町社協事務局、各離島ターミナル、出張所他）

16. 関係機関への参加協力等

ゲートボール大会や研修会の際に職員派遣要請があった場合、参加協力し、イベント運営を支援した。

イベント回数：4回（延べ7名参加）

実施場所：竹富町内、石垣市内

17. その他

・竹富町民生委員児童委員協議会への協力（会計補助・事務補助）

・八重山地区民生委員児童委員協議会（会計）

18. 離島等相当通所介護事業・予防介護事業（さみん）

【財源：介護保険・町補助金・利用料】

要介護状態・要支援状態にある利用者に対し、その利用者の有する能力に応じ

自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話をを行い、通いの場を提供し、利用者の自宅における自立力の維持、向上へ繋げ、併せてご家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

事業内容・営業時間：10:00～16:00

竹富島（月・火・水・金）、

黒島（月・水・金）→R4.1月より（金）のみ、

西表東部（火・木）→R4.2月より（月・火・木）

利用人数内訳：竹富島7名、黒島1名、西表東部12名

19. 訪問介護事業（訪問介護ステーションさみん）

【財源：介護保険・町補助金・利用料】

①要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、訪問介護を提供した。

②訪問介護連絡会の開催。

③訪問型サービス事業

④移動支援事業（町受託事業）

⑤障害者自立支援費制度による訪問介護サービス事業

利用人数内訳：介護36名、障害4名、移動支援0名

令和3年度 会計報告

【財産目録】 令和4年3月31日

資産の部		負債の部	
流動資産合計	8,009,489 円	流動負債合計	7,163,305 円
現金預金	4,810,509 円	事業未払金	6,168,175 円
事業未収金	2,470,927 円	その他の未払金	251,129 円
未収補助金	717,750 円	職員預り金	366,407 円
立替金	△ 3,281 円	賞与引当金	377,594 円
前払金	13,584 円		
固定資産	9,836,958 円	固定負債	7,170,470 円
基本財産特定預金	1,000,000 円	退職給付引当金	6,073,470 円
車輜運搬具	667,341 円	共済会退職共済金引当金	1,097,000 円
器具及び備品	999,147 円		
退職手当積立基金預け金	7,170,470 円		
資産合計	17,846,447 円	負債合計	14,333,775 円
		差引純資産	3,512,672 円

【令和3年度 資産収支計算書】

事業活動収入	68,724,909 円
事業活動支出	70,284,387 円
事業活動資金収支差額	△ 1,559,478 円
施設整備等収入	0 円
施設整備等支出	0 円
施設整備等資金収支差額	0 円
その他の活動収入	5,994,299 円
その他の活動支出	4,062,840 円
その他の活動資金収支差額	1,931,459 円
予備費	0 円
当期資金収支差額	371,981 円
前期末支払資金残高	851,797 円
当期末支払資金残高	1,223,778 円
収入合計	75,571,005 円
支出合計	74,347,227 円



令和4年度 事業計画書

重点目標

■地域福祉活動の強化推進

■通所介護事業の充実運営

1. 老人福祉活動

町内高齢者が、生きがい・健康づくりを通して社会参加を共に促進することにより、孤立感や不安感の解消を図り、もって明るい長寿社会の実現を目的とする。

- ①老人福祉週間行事等で長寿者記念品贈呈
(80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上)
- ②老人クラブ活動への参加協力
- ③幼児・児童等の世代間交流の推進
- ④地域に合わせた講話・セミナーの開催

2. 児童福祉活動

次代を担う子どもたちが生まれ育った地域で健やかに思いやりのある子に育つよう地域全体で考えることを目的とし支援する。

- ①地域世代間交流の推進
- ②新入学児童用品の交付
- ③小中学校生向け福祉体験教室・ワークショップ等の開催

3. 障がい児(者)福祉活動

障がいの有無に関わらず地域住民が相互の人格と個性を尊重し安心して暮らすことができるように支援する。

- ①視覚障がい者へ歩行訓練の斡旋・生活相談、講話、体験教室等の開催
- ②障がい者イベント等への参加協力

4. 生活福祉資金貸付事業

町内の低所得者の自立更生支援を図ることを目的とする。

- ①生活福祉資金貸付事業の推進
- ②生活福祉資金貸付長期滞納者への償還指導の実施
- ③新型コロナウイルス感染症に伴い貸付を受けた償還対象者への償還指導の実施

5. 共同募金運動の推進

- ①赤い羽根共同募金運動の実施(10月1日～12月31日)
 - ・目標額の設定 ……2,050,000円
 - ・出発式の開催(10月1日) ※西表小中学校
 - ・広報活動(各世帯へチラシ配布、役場への横断幕設置)
 - ・学校・公民館長等に説明会の開催・協力依頼(戸別募金・学童募金)
 - ・法人大口募金への協力依頼(依頼文書 送付約300件)
 - ・職域募金への協力依頼(依頼文書送付)
 - ・募金箱の設置(竹富町内、石垣市内)
- ②歳末たすけあい募金運動の実施(12月1日～31日)
 - ・目標額の設定 ……1,200,000円
 - ・戸別募金協力依頼(依頼文書送付)
 - ・広報活動(各世帯へチラシ配布)
 - ・歳末たすけあい義援金の配布(区長・民生委員へ対象者調査、郵送にて配布)
 - ・年末年始歳末地域交流イベント等への助成金交付付
- ③共同募金運営委員会の開催(年3回、6月、11月、2月)
- ④共同募金配分審査委員会の開催(年2回、11月、2月)

6. ボランティア活動育成の推進

地域ボランティアを育成し、地域ネットワーク基盤整備の推進を図る。

- ①ボランティア育成推進モデル事業
 - ・地域リーダー育成
 - ・地域ボランティア育成
 - ・児童生徒向けボランティア教室・世代間交流会の開催
 - ・研修会等への地域ボランティア派遣
- ②ボランティア登録の推進
- ③地区活動におけるリーダー・ボランティアの育成
- ④ボランティア推進指定校への支援(鳩間小中学校・西表小中学校)
- ⑤ボランティア活動校への支援(竹富町内各小中学校)
- ⑥ボランティア活動保険の申し込み受付

7. 総合相談事業

制度の狭間にある方の日常生活におけるさまざまな心配ごとや、困りごとの相談に応じ、助言や関係機関等へつなぐ調整を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。

- ①戸別訪問による独居老人、生活困窮者等への支援
- ②民生委員と気になる家庭への同伴訪問
- ④関係機関との情報交換会
- ⑤社協内相談窓口での相談受付

8. 竹富町ふれあいサロン事業(町受託事業)

誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を目的とし、閉じこもりなど孤立しがちな住民たちが気軽に集まれるサロン活動等を支援し、ふれあいを通して生きがいづくり、地域ネットワーク構築の推進を図る。

- ①地域サロンの自立へむけた支援・サポート
- ②地域高齢者の生きがいづくり
- ③関係機関との連携強化

9. 小地域福祉活動の推進

(1)結のまちづくり推進事業

《実施地区》・結のまちづくり助成金交付地区

◎自治会・町内会レベル等の小地域で発生している福祉課題を地域住民全体の問題として捉え、住民相互の助け合い・ふれあい活動を基本に解決できるよう、地域支え合い体制の基盤整備をする。

- ・地域の居場所づくり
- ・座談会、ゆんたく会等の開催
- ・地域サロンの支援、サポート
- ・結のまちづくり活動助成事業の支援・公募(広報活動・受付)
- ・令和4年度助成金の交付及び助成団体への支援・サポート(対象事業)

①地域福祉活動の推進・福祉啓発の推進

②健康・生きがいづくりの推進

③ボランティア活動の活性化

④児童の健全育成の推進

⑤当該申請年度中に団体を設立するための準備経費

⑥その他、地域福祉の推進に効果が期待できる活動

・助成団体と協働した地域福祉推進への取り組み

(2)結のまちづくり活動助成事業

◎共同募金の一部を財源として『住み慣れた島で安心して暮らせるまちづくり』の推進に取り組む団体・グループ等に対して助成金を交付する。

10. 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の拡充

判断能力が不十分な方が安心して地域で生活が継続できるよう福祉サービスの手続きや利用料の支払い、通帳、印鑑、公的書類等の預かりなどを支援する。

- ①サービス情報の周知、広報活動
- ②支援員の発掘
- ③相談体制の確立

11. 生活支援体制整備事業

高齢者をはじめとする全ての人が、地域で安心して暮らしていくための支援や社会参加を推進し、住民同士での支え合いや助け合い活動の推進を図る。

- ①地域資源、社会資源の把握、創出
- ②ニーズの把握、共有
- ③ネットワーク構築

12. その他

会員拡充及び事業等への特別会員加入促進(広報活動・区長への説明会)

- ①社協だよりの発行(年3回 8・12・3月)
- ②突発的緊急時における町民への支援(法外援助事業)
- ③関係機関との連絡調整及び連携強化
- ④竹富町民生委員児童委員協議会の事務補助・相談支援

13. 訪問介護サービス事業

介護

介護保険法に基づいた訪問介護事業

①要介護状態又は要支援状態、事業対象者に当たる高齢者に対し、その利用者の日常生活を営むことができるように必要なサービスを行う。

②利用者の日常生活を営むことができるようなサービスとは、居宅介護支援員の作成したケアプランに基づき、訪問介護計画書を作成し、本人の同意のもと本人の自宅にて行うものとする。

③利用者の心身状態の把握、病状急変時には診断所及び主治医と連携を行う。

④各島でのヘルパー会議や研修会の開催。

障がい

障がい者の総合支援法に基づいた居宅介護事業

①障がいの有無に関わりなく基本的人権を享受する個人として、日常生活や社会生活を営めるよう、障がい者の居宅生活を支援する。

②相談支援員の作成するサービス等利用計画書に基づき、居宅介護計画書を作成し本人の同意のもと本人の生活の場である自宅にてサービスを行う。

③移動支援事業(町委託事業)

④各島でのヘルパー会議や研修会の開催。

14. 通所介護事業(町指定)

①要介護状態又は要支援状態にある利用者に対し、その利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、身体機能の維持・向上へ繋ぎ、併せて家族等の身体的負担軽減を図る。

②居宅サービスに沿って、利用者又は、その家族の同意のもと通所介護計画書(介護予防通所介護計画書)を作成し、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、その目標を達成するためサービスを提供する。

③利用者の能力に応じて食事の提供、入浴、排泄の介助、生活相談、その他の援助を行う。

④サービス提供時の利用者の心身状態等の把握、静養のための必要な措置、病状急変時には診療所及び主治医と連携を行う

●営業日

・黒島:金 ・竹富:月、火、水、金 ・西表東部:月、火、木

御協力ありがとうございました！

竹富町社会福祉協議会 会費内訳

(令和3年度)

戸別会員 (年間) 一口:500円		賛助会員 (年間) 一口:1,000円以上	特別会員 (年間) 一口:10,000円以上		
《 地 区 》 竹富地区 30,000 小浜地区 51,500 黒島地区 10,000 豊原地区 20,000 大原地区 19,000 古富地区 39,500 美見地区 41,500 大原地区 8,000 船原地区 1,500 上原地区 18,000 中野地区 12,600 浦内地区 29,000 住吉地区 12,000 祖納地区 35,000 干立地区 24,500 白浜地区 18,000 船浮地区 22,000 鳩間地区 9,450 波照間地区 5,500 波照間地区 6,500		竹富地区 7,000 小浜地区 3,000 豊原地区 2,000 美原地区 5,000 浦内地区 2,000 祖納地区 1,000 干立地区 3,000 白浜地区 1,000 鳩間地区 2,000 波照間地区 9,000	《 企 業 》 株式会社盛商 10,000 株式会社一星 10,000 農業生産法人(西表)生産農園 10,000 株式会社興洋エンジニアリング 10,000 株式会社長井建設 20,000 株式会社隆盛コンサルタンツ 10,000 株式会社波照間製糖 10,000 株式会社竹富観光センタ 10,000 株式会社西表港運 10,000 株式会社池村建設 10,000 株式会社肥後工務店 10,000 株式会社高浮海道運 10,000 株式会社船目測量設計 10,000 株式会社横目測量設計 10,000 高尾建設館 10,000 特定非営利活動法人たきどん 10,000 株式会社いりおもて観光 10,000 民宿あけぼの館 10,000 株式会社西浦内川観光 10,000 株式会社西表島交通 10,000 株式会社東部交通 10,000 株式会社八風見電工 10,000 株式会社南風見観光 10,000 株式会社八重山観光フェリー 10,000 株式会社屋建建設 10,000 株式会社安栄観光 10,000 株式会社栄進建設 10,000 株式会社ユーグレナ竹富エビ養殖 10,000 株式会社ホープ建設 10,000 株式会社創進 10,000 株式会社竹富島交通 10,000 株式会社三矢コンサルタンツ 10,000 株式会社由布島 10,000 株式会社八重山ホテル&リゾート 10,000 リゾナーレ小浜島 10,000 株式会社星野リゾート・マネジメント 10,000 星のや竹富島 10,000 株式会社水園科学コンサルタンツ 10,000 仲底モーターズ 10,000 星野リゾート西表島ホテル 10,000 西表造園土木 20,000 株式会社オキジム八重山支店 10,000		
《 学 校 》 竹富小中 8,500 小浜小中 9,500 黒島小中 2,000 大原小中 4,000 船原小中 5,000 上原小中 500 西表小中 3,500 白鳩小中 8,000 鳩間小中 4,000 波照間小中 6,000 波照間小中 6,000		竹富小中 2,000 小浜小中 2,000 大原小中 1,000 西表小中 3,000 西表小中 2,000	《 竹 富 町 役 場 》 総務課 1,000 政策推進課 3,000 世界遺産推進室 1,000 防災危機管理課 1,000 町税課 1,000 下水道課 2,000 健康づくり課 1,000 福祉支援課 2,000 福産業まちづくり課 3,000 まちづくり課 1,000 竹富町議会事務局 2,000 教育委員会総務課 1,000 教育委員会教育課 2,000 教育委員会社会文化課 1,000		
《 竹 富 町 役 場 》 総務課 2,500 政策推進課 2,500 世界遺産推進室 2,500 防災危機管理課 500 町税課 4,500 下水道課 3,000 健康づくり課 1,000 福祉支援課 5,000 福産業まちづくり課 4,500 竹富町議会事務局 500 福産業まちづくり課 1,500 まちづくり課 3,000 まちづくり課 500 教育委員会総務課 2,000 教育委員会教育課 2,000 教育委員会社会文化課 5,500		大浜知司 2,000 新城賢良 1,000 根原憲永 3,000 次呂久英夫 3,000	《 企 業 》 竹富盛旅館 3,500 西表アイランドホテル 3,000		
《 社 協 》 竹富町社会福祉協議会 6,000		竹富町社会福祉協議会 1,000	《 個 人 》 西大城正高旬 10,000 西大城正明 11,000		
合 計	520,050 円	合 計	86,500 円	合 計	451,000 円

お詫びと追加・訂正

R4.6月に発行いたしました社協だより39号について、この場を借りてお詫びと追加・訂正を致します。

3P 結のまちづくり活動助成事業のご報告 右から2つ目、上から3つ目の写真
 上原老人クラブ × 35,000 円 → ○ 50,000 円

児童福祉事業のご報告



ピカピカの新入生達に プレゼントをお渡ししました！

竹富町の次世代を担う子ども達の健やかな成長を地域で支え、児童福祉の向上を図ることを目的としています。

毎春、各地区の民生委員が各校への挨拶のため訪問し、新入生たちをお祝いしています。



事業名：新入学児童用品交付

実施年月：令和4年4月

障がい福祉事業のご報告



障がいをもつ方との関わり方を考えてみよう！

西表小中学校で車いすやレクリエーションなどの体験を交えて楽しく学ぶ福祉教室を開催しました。

体験を通して「ふだんの 暮らしの しあわせ」について考え、人との関わりの中で自分たちは何ができるかに気づくことを目的としています。



(点字体験)



(視覚障がいアイマスク体験)



(車いす体験)

参加した小学生の声（一部抜粋）

・相手の気持ちや自分の思いを相手に伝える力がとっても必要なんだと体験して気づきました。もし、そういう人がいたら声をかけて助けていきたいと思いました。

事業名：福祉教室の開催

実施年月：令和4年6月22日(小学生)及び7月1日(中学生)

フチコラム

ふくしの意味すること「ふだんの 暮らしの しあわせ」福祉を表す言葉としてよく言われるのが、福祉の頭文字をとった「ふだんの 暮らしの しあわせ」です。「福祉=弱者を支える」というイメージがあります。しかし福祉は他人事というより我が事です。「ふだんの 暮らしの

「令和4年度 赤い羽根共同募金感謝の集い」表彰

共同募金への長年のご協力に感謝し、沖縄県共同募金会から以下の団体が表彰されました。(以下表彰団体、敬称略)



○篤志寄付者 (金額に関わらず10年以上寄付を継続されている個人・団体)

- ・有田保険サポート
- ・株式会社 八島建設
- ・ノードプレス
- ・有限会社 大島設計事務所

計4団体

○奉仕功労者

(10年に亘って奉仕活動を行い、今年度もその活動が見込まれる個人・団体)

- ・大原中学校

計1団体

～ 善意のご紹介 ～ (令和4年2月11日～令和4年7月15日分)

本会の社会福祉事業のためにと、次の方からご芳志をいただきました。竹富町の地域福祉推進のため、大切に使用させていただきます。

令和4年 5月19日 金武 清也様 (社協理事) 金一封
母 金武 ミツ子 様の香典返しとして

令和4年 7月8日 西里 正永 様 20,000円
母 西里 スミ 様の香典返しとして

車いすの貸し出しを行っています!

竹富町社協では、石垣市にある事務局内や各離島ターミナル内等に自走式・介助式車いすを貸し出しています。島内外へ外出する際や、車いす購入や介護保険認定までの繋ぎとして、また体験講座等にもご利用いただけます。

ご利用料金

無料

ご利用期間

原則1カ月以内 (状況により貸出延長も可能です。)

ご利用対象者

原則竹富町内に住所を有し、一時的に車椅子を必要とする方。

(ただし車いすの台数に限りがあるため、要相談。)



→詳しいお問い合わせは TEL : 84-3302

しあわせ」の主人公は私自身です。私、老若男女、身体が不自由な人、故郷が遠う人、一人ひとりが毎日幸せに暮らせるためには、どうすればいいだろう。日本国憲法で大切にされている、日常の暮らしのしあわせを考える。そういうメッセージが「ふくし」には込められています。(参考文献:福祉教育推進員養成研修テキスト 福祉教育の理論と実践方法～共に生きる力を育むために～ 著:原田 正樹)

募集

地域のなやみごとに取り組む団体さまへ

助成団体 募集のお知らせ

令和5年度に助成を受ける団体を募集します!!

広がれ!! 地域の輪 結のまちづくり活動助成事業

募集期間 令和4年9月30日(金)まで!!

竹富町に拠点を有し、『安心して暮らせるまちづくり』推進のため活動している(今後活動する見込みのある)団体・グループを公募します。

(対象事業)

- ① 地域福祉活動の推進・地域啓発の推進
- ② 健康・生きがいづくりの推進
- ③ ボランティア活動の活性化
- ④ 児童の健全育成の促進
- ⑤ 当該申請年度中に団体を設立するための準備費用
- ⑥ その他、地域福祉の推進に効果が期待できる活動



配分額
1事業
最大10万円

※町全体で70万円以内の
予算とする。

令和4年度に助成を受ける団体を募集します!!

歳末たすけあい運動 地域配分事業

募集期間 令和4年9月30日(金)まで!!

実施期間 令和4年12月1日~令和5年1月31日まで!!

竹富町の高齢者、障がい者、子どもなど、誰もが地域社会の一員として安心して新年を迎えることができるよう、住民の主体的な参加により地域で実施される福祉活動を支援・推進することを目的とする。

(対象事業)

町内における、地域住民参加による福祉活動や支援を必要とする方(世帯)への在宅福祉活動、ふれあい交流活動。

(取り組み例)

- ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯への安否確認、声掛け活動
- ・園児、児童生徒による高齢者とのクリスマスカード・年賀状交流活動
- ・ボランティアによる施設訪問
- ・高齢者宅等の家屋の小修理・清掃活動(障子の張り替え・大掃除など)
- ・地域サロン・高齢者団体など当事者団体等の交流活動
- ・子ども会や公民館などによるクリスマス会・忘年会・新年会などの交流活動
- ・各地区・団体での講演会等の開催

配分額
1事業
最大3万円

※事業の内容、及び
審査委員会の決定により、
金額は決定されます。

【お問い合わせ・申請先】 竹富町社会福祉協議会 電話：84-3302 (担当：仲盛・伊奈) まで